



有機農業 パネル展



「農林水産省こどもページキャラクター 田部ルゼ」

「農林水産省こどもページキャラクター のりス」



農林水産省

中国四国農政局

徳島県拠点



有機農業って こんな農業



「農林水産省こどもページキャラクター 田部ルゼ」

「農林水産省こどもページキャラクター のりす」



ゆうきのうぎょう かがくひりょう かがくのうやく しょう かんきょう みたん
有機農業は化学肥料や化学農薬などを使用せず、環境に負担
をかけないように行う農業のやり方です。

にほん かんきょう のうぎょう じつげん ゆうきのうぎょう
日本では、環境にやさしい農業を実現するため、有機農業の
取組の拡大が進められています。



有機農業



どんな栽培？ 何がいいの？



「農林水産省こどもページキャラクター 田部ルゼ」

「農林水産省こどもページキャラクター のりす」

げんざい のうぎょう つぎ さいばいほうほう
現在の農業には、次のような栽培方法があります。

- 1 き かがくひりょう かがくのうやく てきせい しょう さいばい ほうほう
決められた化学肥料や化学農薬を適正に使用して栽培する方法
- 2 しょう かがくひりょう かがくのうやく へ さいばい ほうほう
使用する化学肥料や化学農薬を減らして栽培する方法
- 3 かがくひりょう かがくのうやく しょう さいばい ほうほう
化学肥料と化学農薬を使用しないで栽培する方法

ゆうき ゆうきのうぎょう
オーガニックや有機というのは、有機農業として

③の方法で有機JASの基準に基づいて栽培した
のうさんぶつ
農産物のことです。



ゆうきのうぎょう こんちゅう い もの きょうぜん し ぜん せいたいけい たいせつ のうぎょう
有機農業は、昆虫など、いろんな生き物と共存し、自然の生態系を大切にする農業です。



有機 JAS

どんな商品があるの？



「農林水産省こどもページキャラクター 田部ルゼ」

「農林水産省こどもページキャラクター のりス」

有機JASは、「日本農林規格」の一つで有機農産物・
有機加工食品・有機畜産物・有機藻類などの規格があり、
野菜、米、果実だけでなく、様々な有機食品があります。



有機農産物

(野菜・米・果実)



有機
加工食品
(有機酒類含む)

有機JASマークのある食品だけが、
「有機」や「オーガニック」と表示
して販売できます

JASマーク



有機畜産物

(肉、たまご、牛乳など)



有機藻類
(わかめなど)





有機JAS マーク



「農林水産省こどもページキャラクター 田郎ルゼ」

「農林水産省こどもページキャラクター のりス」



有機JASマークは、太陽と雲と植物をイメージしたマークです。

「有機JASマーク」とは、有機JASに合った生産が行われていることを登録認証機関によって検査及び認められた事業者のみが貼ることのできるマークです。



みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

日本の農林水産業を取り巻く状況

平均気温の上昇



豪雨・台風の頻発



肥料原料の
輸入依存



生産者の高齢化
労働力不足



未来の農林水産業が続かなくなる！

地球環境の変化

気候変動による
大規模災害



生物多様性
の低下



地球で安心して暮らせなくなる？

みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

農林水産業は、地球の環境に
どう関わっているの？



農林水産業は、さまざまな生き物の生育・生息に重要な役割を果たしています。

また、私たちの食事の食べ残しや家畜排せつ物などは、堆肥やエネルギーなどに使うことができます。



みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

私たちは 考えなければなりません！！

今の農業をこの
まま続けられる
のかな？

今の生産方法で
地球環境は大
丈夫なのかな？

この先も今のよ
うな食生活を送
れるのかな？



世界でも、農業と環境に関わる戦略が作られています。



EU

「Farm to Fork戦略」
(農場から食卓まで戦略)



日本はどうする？



アメリカ合衆国
「農業イノベーション
アジェンダ」



国際連合
「SDGs」

みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

日本はどうする？



農林水産省は、環境負荷を減らしながら、農業の生産力を上げていこうとする政策を考えました！

「みどりの食料システム戦略」

戦略の実現に向けては、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の幅広い関係者が一体となって環境負荷低減に取り組む必要があります。



みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

「みどりの食料システム」ってなんですか？

わたしたちの「食」は、調達から生産、加工・流通、消費まで、あらゆる関係者のつながりによって成り立っており、これを1つの大きな仕組みとしてとらえたものを「食料システム」と呼んでいます。

近年、気候変動の影響や生物多様性の低下、SDGs※をはじめとする環境への意識の高まりを受けて、社会全体を持続可能なものにしていくことが求められています。



未来の子どもたちの「食」を守るためには
「食料システム」を環境にやさしい（＝みどり）ものとし
みんなで身近な「食」について関心をもって
これを支えていくことが大切です。

生産者・事業者・消費者

それぞれの活動の中で環境を意識する
「きっかけ」になることが期待されます。

※ SDGsは、Sustainable Development Goals（サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ）の略称で、日本語では「持続可能な開発目標」と言います。

みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

「SDGs」と農林水産業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs[※]は、全世界で17の共通目標を決めて2030年までに達成を目指すものであります。

世界中の人々が、今の環境を守りながら、さらに暮らしやすい社会を創り続けていくことを目指しています。

この目標達成に向けて環境にやさしい**農林水産業**を進めています。

※ SDGsは、Sustainable Development Goals（サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ）の略称で、日本語では「持続可能な開発目標」と言います。

みどりの食料システム戦略の概要

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

農林水産省では、持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷低減のイノベーションを推進していきます。

目指す姿と取組方向

2050年までに目指す姿

- 農林水産業のCO₂ゼロエミッション化の実現
- 化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減
- 化学肥料の使用量を30%低減
- 耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大 など



ゼロエミッション
持続的发展

革新的技術・生産体系の
速やかな社会実装

革新的技術・生産体系
を順次開発

開発されつつある
技術の社会実装

取組・
技術

2020年 2030年 2040年 2050年

期待される効果

経済

持続的な産業基盤の構築

- ・ 輸入から国内生産への転換（肥料・飼料・原料調達）
- ・ 国産品の評価向上による輸出拡大
- ・ 新技術を活かした多様な働き方、生産者のすそ野の拡大

社会

国民の豊かな食生活 地域の雇用・所得増大

- ・ 生産者・消費者が連携した健康的な日本型食生活
- ・ 地域資源を活かした地域経済循環
- ・ 多様な人々が共生する地域社会

環境

将来にわたり安心して 暮らせる地球環境の継承

- ・ 環境と調和した食料・農林水産業
- ・ 化石燃料からの切替によるカーボンニュートラルへの貢献
- ・ 化学農薬・化学肥料の抑制によるコスト低減

出典：農林水産省（参考）「みどりの食料システム戦略について」説明資料の「みどりの食料システム戦略の実現に向けて」を加工して作成

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyoe/seisaku/midori/>



みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

全ての人に求められているエシカルな消費行動

「エシカル消費」の基本は「農林水産業」につながっている。

地域に配慮した消費



○ 地元で作られた商品を選ぶ（地産地消）、地元のお店で買い物をする

スーパーに行ったとき、自分の住んでいる地域でとれたものを選んでみましょう。地元の生産者を応援でき、フードマイレージ（食料の輸送にかかる距離。大きいほど輸送中に排出されるCO₂が多くなります。）の削減にもつながります。また、生産地が近いため、新鮮さも保たれています。

さらに、地元のお店や地元で作られた商品を買うことで、地域経済が豊かになります。

環境に配慮した消費



◎ 食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-POODLOSS PROJECT

○ ムダの少ない商品を選ぶ

長く使い続けられる商品か、食べ物であれば食べきれる量なのか、購入する前によく考えてみましょう。

○ 環境への負荷が小さい商品を選ぶ（グリーン購入）

グリーン購入とは、環境にかかる負荷が小さくなるよう、配慮して作られた商品を選ぶことです。例えば、リサイクル商品は、ごみになる量が少なくなります。環境ラベルが目印になります。

○ 資源の保全につながる商品を選ぶ

木材や魚介類などは、私たちの生活に身近な資源です。これらの資源が枯渇しないよう、配慮して作られた商品には、マークやラベルが付いています。



「見つけて！」

農産物の環境負荷低減の
「見える化」

～国産農産物への負荷と生物多様性保全への配慮～



見る × 選べる
みえるらべる

エシカル消費とは

地域の活性化や雇用なども含む人や社会、環境に配慮した消費行動

「今だけ」でなく「未来」のことも考え、「ここだけ」でなく「世界」のことも考え、「自分だけ」でなく「様々な立場の人々」のことも考えた消費行動が「エシカル消費」

みどりの食料システム戦略

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

私たちにできること

例えば
豚汁を作るとき！

地産地消の実践

地元で作られたものは、
輸送距離が短いので環境に
やさしい！

環境に配慮して 生産された食品に注目！

低化学肥料・農薬や有機
栽培で作られた食品を選んで
みよう！

国産食材をチョイス！

国内で生産された食材を
食べて、食料自給率を向上
させよう！

てまえどり

食べきれぬなら、消費期
限の近い「棚のてまえ」の
商品を選んでみよう！

食品ロスの削減

買いすぎや皮のむきすぎ
など、食べ物をムダにして
いないか考えよう！

いただきます！

残さず食べよう！

すぐに食べるなら、
手前をえらぶ。

『てまえどり』

にご協力ください。

食品ロス
ゼロをめざして

みんなで目指そう。食料にやさしい社会を目指そう。
消費者庁 農林水産省 環境省

キャラクター紹介

こども農林水産省

田部ルゼの広場



田部 ルゼ

食いしん坊で食べるのが大好き。
いつもはぐうたらしているけれど、食べるこ
になると好奇心旺盛で6時間くらいなら平気で
行列に並べるよ。不器用で好きなお料理では釣れ
ないことが多いけれど、何時でも待つのは
大丈夫！とちどちの「のりス」とは犬の仲良
し。いつも農林水産省について教えてもらっ
ているよ。



誕生日 7月5日
職業 農林水産省アン(サター) (自称)
口癖 「るぜ」
趣味 動画鑑賞 (特にパズル)、食べ歩き、釣り
夢 農林水産大臣になること

のりス



農林水産省で仕事をしている国家公務員。
お腹がすいて眠れている「ルゼ」を日比谷公園
で見つけてお弁当のおにぎりをわけてあげたん
だ。その時からルゼと仲良しになったよ。食べ
ることが大好きなルゼに農林水産省のことを
教えているよ。



誕生日 ひみつ
職業 食べるぜ農林大学 博士号取得
国家公務員 (まといりスにおこがれて農林水産省に入省)
性格 困っている人がいたら助けておけないタイプ
趣味 晴れている日に日比谷公園でランチ。
登山 (まといりスの看板写真を集めて、ニヤニヤがめています)
夢 いつか『まといりス』とコラボすること

「まといりス」とは

山火事防止のシンボルマーク。昭和46年に
りんやちょう 林野庁で山火事防止キャラクターの動物を
募集、昭和47年にシンボルマークとして
制定されたものです。



農！林！水！

を知ってみよー



知ろっ！ 学ぼう！

こども農林水産省

こどもページ

検索



出典：農林水産省 こどもページ

<https://www.maff.go.jp/j/kids/index.html>



農林水産省では、全ての補助事業等において

「みどりチェック」

(環境負荷低減のクロスコンプライアンス)

を令和9年度を目標に本格実施することとし、
令和6年度から試行実施を行っています。

事業を実施する際に、新たな環境負荷が生じないようにし、各補助事業等の目的と環境負荷低減を
両立することを目的としています。

「みどりチェック」の7つの基本的な取組とポイント



日頃の事業活動の中で新たな環境への負荷が生じないように、
7つの基本的な取組を実践することが重要です。



「みどりチェック」は
誰もが取り組める
環境負荷低減への
「初めの一歩」です。

詳しく知りたい方はこちら

農業経営体、畜産経営体、林業事業者、漁業経営体、食品関連事業者、民間事業者・自治体等向けのチェックシート解説書やQA集等を掲載しています。

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/kurokon.html>

出典：農林水産省 環境負荷低減のクロスコンプライアンス

(チラシ)「みどりチェック」に取り組みましょうを加工して作成

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/kurokon-41.pdf>





とうけい

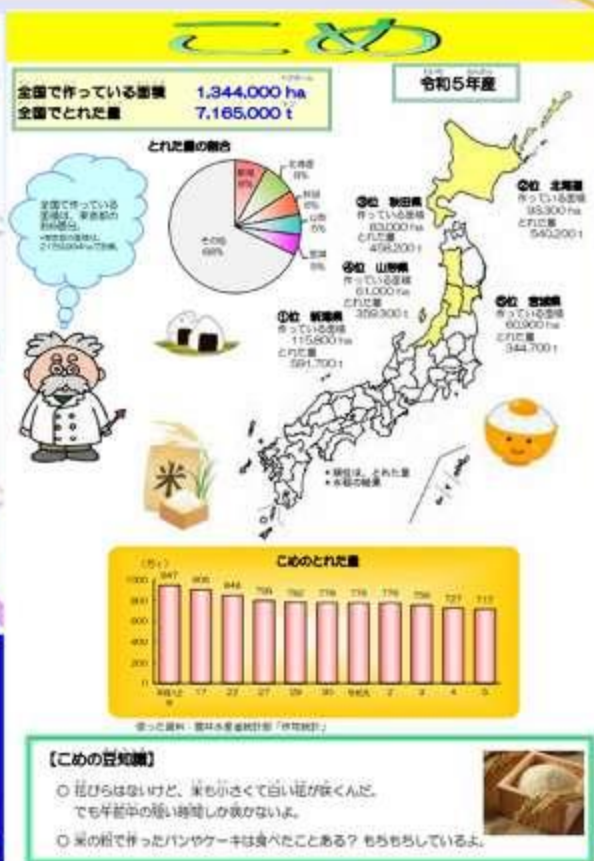
統計の

じてん

わかっちゃう事典



「統計」とは、
「ものごとを調べて数字であらわしたものの」
という意味だよ。
たとえば、クラスのお友だちの身長をしらべ
たものは統計だね。



いろいろな品目ごとに、「どこでたくさん作られているのか」や「どれだけ作られているのか」を図を用いてわかりやすくまとめているよ。（令和6年6月現在）

まとめられている品目

穀物：こめ、むぎ、だいず

野菜：だいこん、キャベツ、ピーマン、トマト、なす、にんじん、じゃがいも

果樹：みかん、りんご、ぶどう

出典：農林水産省 統計情報 こどものための統計データ集を加工して作成

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kodomo/index.html>

農林水産省 こどもページ マフ塾2024

統計データを使いこなして自由研究を攻略しよう！

https://www.maff.go.jp/j/kids/kodomo_kasumi/2024/content/toukei.html

